



激しいボール争いを繰り広げる太秦中と男山第三中(決勝)

太秦中 激戦制しV

第21回K J杯中学生サッカー大会

男山三中

準V

大住中 長岡三中

3位

中体連で
最終戦 1、2年生選手が健闘

京都城南ライオンズクラブ(堀井真也会長、主催)の第21回K J杯争奪中学生サッカー大会は27日、太陽が丘陸上競技場で最終戦を行った。決勝戦では、太秦中が男山第三中を3・0で制し、優勝を飾った。3位には大住中と長岡第三中が入った。

大会では宇治、城久、勢が4強に進出。準決を4・1で退け、男山、大住、相楽、乙訓、京都の各地区予選1、2位と、宇治サッカー協会推薦1チームの中体連13チーム、地元のクラブチーム3チームの計16チームの1、2年生選手がトーナメント戦で2日間にわたって熱戦を繰り広げた。初日の結果、太秦中と男山第三中、長岡第三中、大住中の中体連



優勝・太秦中

2・0で降した。京都府地区1位と綴喜地区1位との顔合わせとなった頂上対決で、太秦中は前半から試合のペースを握り、ゴール前の混戦からFW長尾陸矢が先制。後半も丁寧なパスワークと豊富な運動量でボールをつないで追加点を奪い、FW筒井翔之の技ありのルーシニョットで勝利を決定づけた。

閉会式では、堀井会長が選手たちをたたえ、優勝、準優勝、3位の各チームを表彰した。ベストイレブンにはメダルが贈られた。最終戦の結果は次の通り。
【準決勝】▽男山第三中2・0長岡第三中▽太秦中4・1大住中
【決勝】太秦中3・0男山第三中



堀井会長からメダルを贈られるベストイレブン